

主催：NPO 法人上田図書館倶楽部

共催：上田情報ライブラリー



大人になった今こそ読みたい 児童文学の朗読会

朗読 駒村則子（フリーランスアナウンサー）

新見南吉作 里の春、山の春・狐

にいみなんきち：愛知県半田市出身、日本の児童文学作家
代表作『ごん狐』。29歳で病気で亡くなる。童話の他に童謡、詩、短歌、俳句や戯曲も残した。

里の春、山の春：山奥に住む鹿の坊やは、「春」とはどんなものか知りたくてたまりません。お父さん、お母さんが優しく「春」を教えてくれる、ほっこりあったかいお話

狐：母と子の心の交流を描いた「ごんぎつね」「手袋を買いに」に続く、新美南吉のキツネ三部作の1つ



小川未明作 小さい針の音

おがわみめい：新潟県上越市出身、小説家・童話作家
日本のアンデルセンとも呼ばれ、児童文学の近代化、地位の向上に貢献した。代表作は「赤い蠟燭と人魚」、「野ばら」など。

小さい針の音：都会での出世を夢見て、田舎を飛び出した青年教師の物語。時の流れの中で見失ってしまった大切なものは・・・

駒村 則子（こまむら のりこ）プロフィール
（一社）日本朗読検定協会認定 二級朗読インストラクター）

大学卒業後、東京でOL生活を送りながら声優養成所などで学び、声の仕事始める。その後、長野県内各局テレビ番組レポーター、ナレーター、司会者として仕事に従事。語学力を生かして、国際イベント開催時の英語アナウンスや英語ナレーションも担当。

2015. 3 月 14 日(土)

開場 18:15 開演 18:45
会場 上田駅前ビルパレオ 4F
上田情報ライブラリー
ことばの繭ホール

入場料：500円 高校生以下無料（要予約）

定員：70名

申込：2月20日（金）～上田情報ライブラリーにて受付

電話 29-0210（休館日 火曜日、2/26）

お問合せ：上田図書館倶楽部事務局 電話 25-3115